

資料コーナー

ブログの実態に関する調査研究

出典：総務省 情報通信政策研究所 ブログの実態に関する調査研究（平成 21 年 3 月）

(<http://www.soumu.go.jp/iicp/chousakenkyu/data/research/survey/telecom/2009/2009-02.pdf>) より抜粋

今から約10年前に登場したブログですが、今や登録者数は約2,695万人（2009年1月末時点）、市場規模は約160億円（2008年度時点、関連市場含めると約1,961億円）の産業へと発展しています。今回は、最近のブログの実態に関して総務省 情報通信政策研究所が調査した結果の一部を、ご紹介いたします。（以下抜粋、一部編集）

1. 海外のブログの状況

米国 Technorati 社の調査によると、2007 年 3 月時点で同社が追跡するブログ数は、世界全体で 7000 万以上、日本語による記事は全体の 37%であり、英語（36%）を超えて、日本語ブログは世界一位の発信量と報告されている。

2. 国内ブログ数の推移

インターネット上で公開されているブログ数の推移の推計結果(図 1)を見ると、2003 年前半までは数万から十数万の規模で推移していたが、有名タレントの参加による効果もあり、2004 年から 2005 年にかけて急増、2006 年 1 月に 1,000 万に達した後も緩やかに増加していることがわかる。

3. ブログの開設動機の傾向

ブログ開設経験者アンケートの結果、開設の動機として①自己表現（30.9%）、②コミュニティの形成（25.7%）、③社会貢献（8.4%）、④収益目的（10.1%）、⑤アーカイブ型利用（25.0%）の5つが重視される傾向があり、自己表現が最も高いことがわかった。「自己表現」はストレス解消等の内面的な効用重視、②コミュニティの形成は、「子育て」のテーマのブログの割合が高い傾向にあった。

4. 更新継続率の推定値

ブログの開設時期、更新停止年月等のアンケート回答データを用いて、各月開設ブログの12箇月更新継続率（ある月に開設されたブログが12ヵ月後にもアクティブである割合）を開設月別に計算した結果が図2のグラフである。

これによると2003年頃までの、早い時期に開設されたブログでは、12ヶ月更新継続率は7割前後と高いが、2004年にかけて5割近くまで低下し、その後は5割から4割の間で推移している。

5. ブログのデータ量

ブログのデータ量は、ブログ数の増加、記事数の増加、そして後述する画像ファイル等の増加によるデータ量の増加が重なった結果、急速な増加を続けている。

2008年1月までに国内のブログに書き込みされた記事の情報量の合計は約54テラバイトに達するが、ブログ全体の

データ量は2004年から増加に拍車がかかり、2006年以降は、毎月1.6テラバイト前後のデータが追加されている(図3)。

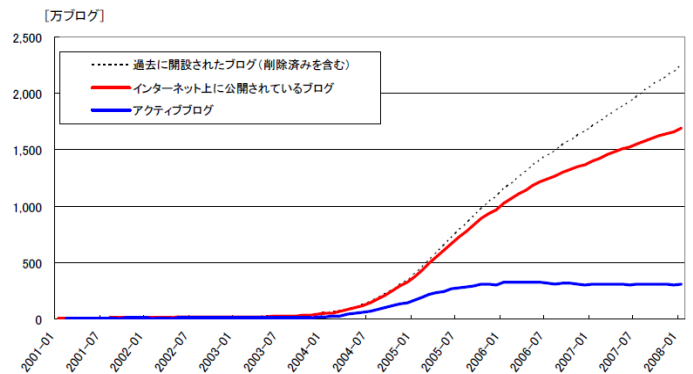


図1 国内ブログ数の推移

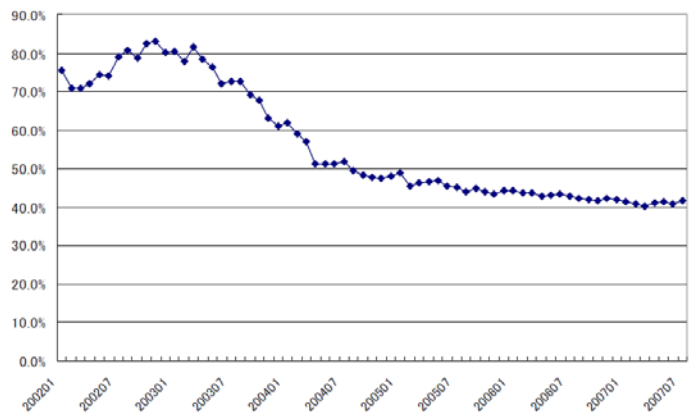


図2 12ヶ月更新継続率の推移

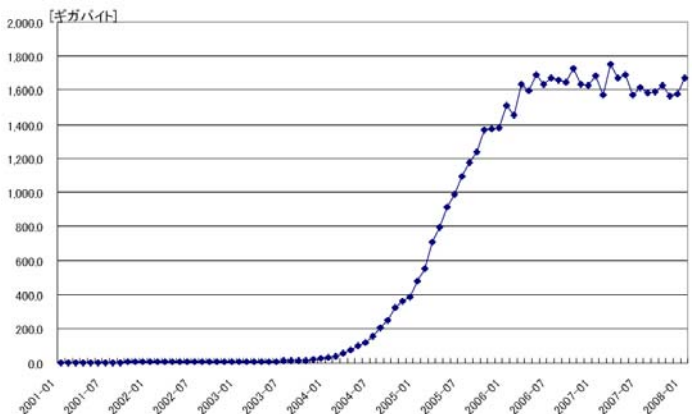


図3 毎月の新規記事データ量の推移

田中憲光（NTT環境エネルギー研究所）
（平成 22 年 3 月 15 日受付）